

ガイドライン 2010 対応版用

LIFEPAK CR[®] Plus DEFIBRILLATOR

操作手順

音声による指示が流れます

電気ショック前の準備

操作 1 電源を入れます

直ちに助けを呼んでください。

服を取り除き胸部を出してください。

❗ 胸部より、衣類、余分な体毛、水分を取り除きます



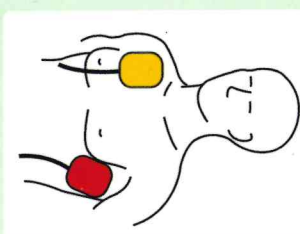
操作 2 電極パッドを取り出し胸に貼付けます

赤のハンドルを引いて、バッグを開いてください。

(もう一つの) パッドを青の台紙から剥がします。

パッドを素肌に、絵の通り貼ります。

しっかり押し付けます。



左右ひとつずつ繰り返し音声流れます

解析可能になると

解 析

心電図の解析 (AEDが自動的に解析します)

🔊 体に触れないでください。心電図を調べています。

❗ 解析中は体に触れないでください。

体が動いていると解析をすぐに開始しません。

🔊 体が動いています。動きをとめてください。

❗ 10秒以内に動きをとめ、傷病者から離れてください。

解析結果の確認

Pattern 1

🔊 電気ショックの準備をしています。

電気ショックの必要があります

Pattern 2

🔊 電気ショックは必要ありません。

電気ショックは不要です

【注 意】 本クイック操作ガイドは、取扱説明書の一部を抜粋しています。実際の使用に備え、必ず取扱説明書をお読み下さい。本クイック操作ガイドは、LIFEPAK CR Plusの操作ガイドです。心肺蘇生法については網羅しておりません。心肺蘇生法(CPR)トレーニングについては、お近くの消防署、日赤支部等へご相談されることをお勧めします。

電気ショック

🔊 全員離れてください。点滅しているボタンを押してください。

❗ 傷病者から離れてください。

操作 3 ショックボタンを押します

🔊 ショックが完了しました。



🔊 胸骨圧迫と人工呼吸を行ってください。

🔊 呼吸や意識が戻るまで心肺蘇生を続けて下さい。

約2分間繰り返し音声流れます

【心肺蘇生について】

心肺蘇生は胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返します。人工呼吸ができないか、ためられる場合は胸骨圧迫のみを行う。圧迫は強く(成人は少なくとも5cm、小児は胸の厚さの約1/3)速く(少なくとも100回/分)絶え間なく(中断を最小にする)、圧迫解除は胸がしっかり戻るまで行ってください。

❗ 傷病者が(嫌がって)動きだすか、救急隊又は専門の救護者に傷病者を引き継ぐまで、心肺蘇生とAEDを繰り返します。心肺蘇生が中止できても、電極パッドは胸に貼付けたままにします。

心電図の解析へ戻る ↻

操作 1~3 操作者がAEDに対して行う操作

🔊 音声ガイダンス

❗ AEDへの操作以外の注意事項